

事業コード	H23-建-継-1		区 分	国庫補助 県単独
事業名	国道道路改築事業費		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	道路改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道108号		担当課長名	柴田 明
箇所名	由利本荘市矢島(前杉バイパス)		担当者名	鈴木 護
総合計画との関連	政策コード	10	政策名	交通基盤の整備
	施策コード	02	施策名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県管理国道の整備推進

1. 事業の概要

事業期間	H16 ~ H27 (12年)		総事業費	40.0億円	国庫補助率	7/10
事業規模	延長 L=2,450m、幅員 W=6.0(11.0)m (1.25-3.0-3.0-1.25-2.5)m					
事業の立案に至る背景	一般国道108号は宮城県石巻市を起点とし秋田県湯沢市を経て由利本荘市へ至るルートで、日本海側と太平洋側を横断的に結び、産業、経済の地域間交流を促進する重要な路線である。当計画区間は線形不良に加え、幅員狭小でかつ急勾配である。特にスノーシェッド区間は大型車のすれ違いに困難を極めるほか、由利高原鉄道のアンダーパスの建築限界は4.1mしかなく円滑な交通の確保に難を呈し、とりわけ冬季には通行困難ばかりでなく滑走や接触事故が多発している。このため、線形改良と併せて車道の拡幅及び歩道を設置し安全で円滑な交通確保と併せて広域的な幹線道路と旧鳥海・矢島町の生活道路としての機能強化を図るものである。					
事業目的	交通の隘路区間(幅員狭小、線形不良)の解消 道路防災対策・危機管理の充実(第2次緊急輸送路) 老朽化したスノーシェッドの解消(L=213m)					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		4,000,000	4,000,000	0	
	経費内訳	工事費	2,970,617	2,970,617	0	
		用補費	380,138	380,138	0	
		その他	649,245	649,245	0	
	財源内訳	国庫補助	2,200,000	2,680,000	480,000	下記による
		県債	1,620,000	1,188,000	-432,000	下記による
その他		0	0	0		
一般財源		180,000	132,000	-48,000	下記による	
事業内容		調査・設計、改良工、橋梁工、舗装工	調査・設計、改良工、橋梁工、舗装工		国の制度改正により、補助率が変更となった。	
事業の進捗状況	改良工事(進捗率18%)及び用地買収(進捗率94%)を進めている。 事業進捗率31%(H22年度末)					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	ふるさと秋田元気創造プラン「地域医療などを支える救急ネットワークの整備」を支援する事業					
情勢の変化及び長期継続の理由	H17.3.22 旧矢島町が周辺の市町村と合併して由利本荘市となった。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	県管理国道改良率				
	指標式	改良率(改良済延長/路線実延長)				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目標値 a	93 %		データ等の出典	道路課調べ	
	実績値 b	94 %				
達成率 b/a	101.1 %		把握の時期	平成23年4月		

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	特になし
	指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	当該区間は最小半径がR = 40m、また最急勾配もi = 8.0%で堆雪幅もなく通学路区間に指定されているが歩道もない状況であり、一年を通じた交通の安全確保が望まれる。平成8年には小坂地区において死亡事故が発生している。	12点
緊 急 性	市町村合併支援道路の位置づけあり。 老朽化したスノーシェッドの解消が必要である。	15点
有 効 性	第2次緊急輸送路指定路線であり、災害や救急医療施設へのアクセス道路としての活用も見込まれ、防災計画に重要な路線である。 平成16年3月に土砂崩落が生じ、長期間全面通行止めとなったため早期の道路整備が望まれている。	28点
効 率 性	事業の費用便益比(B/C)は1.2であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値36億円 ・総費用の現在価値30億円 計画交通量は7,896台/日である。 計画交通量からみると道路規格は3種2級であるが、計画区間の前後における現道の状況や計画の線形等を総合的に判断し、1級下の3種3級とすることでコスト縮減を図っている。	20点
熟 度	用地買収については、ほぼ買収済みである。 工事については、橋梁2橋について上部工を進めており計画どおりの進捗となっている。	15点
判 定	ランク () 判定ランク であり、事業箇所としての優先度は高く、事業を引き続き実施すべきである。	90点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価

事業コード(H23-建-継-1)

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (由利本荘市矢島(前杉バイパス))

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	・車道幅員 < 5.5 m	3箇所以上	8	8	2次改築事業については該当しない。
	・最小半径 < 100 m	2箇所	5		
	・最急勾配 > 5 %	1箇所	3		
	・冬期堆雪巾なし	0箇所	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	7		
	・現道の混雑度 1.0	4件該当	6	4	2次改築は配点15点 2次改築は配点12点 2次改築は配点10点 2次改築は配点8点 2次改築は配点4点
	・現道の旅行速度 30km/h	3件該当	5		
	・現道の事故率 50件	2件該当	4		
	・通学路指定で歩道なし	1件該当	2		
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0			
計		15	12		
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無				
	・県の主要プロジェクト	あり	5	5	
	・地域振興プロジェクト	なし	0		
	・ほ場整備等の他事業	なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	5	
	位置づけなし	0			
特有の課題の有無	あり	5	5		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計		15	15		
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路				
	第1次輸送路	あり	10	8	
	第2次輸送路	あり	8		
	第3次輸送路	あり	6		
	指定なし	なし	0		
	県内90分交通体系、全国1日交通圏等に	あり	10	10	
	なし	0			
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10		
	低下傾向	6			
	必要性が低い	3			
計		30	28		
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)				
	1.0以上	5	5		
	1.0未満	0			
	計画交通量			5	
	5,000台/日以上	5			
	1,000台/日以上5,000台/日未満	3			
コスト縮減			5		
あり	5				
なし	0				
事業中止による影響			5	etc 大規模バイパス etc 部分的ミニバイパス etc 現道拡幅	
既投資額の損失大	5				
既投資額の部分的損失	4				
既投資額の損失が少ない	3				
計		20	20		
熟度	事業の進捗進捗状況				
	事業の進捗(事業費)				
	8割以上完了	10	5		
	5割以上完了	8			
	1割以上完了	5			
	1割未満	2			
	用地買収の進捗(面積)			10	
8割以上完了	10				
5割以上完了	8				
1割以上完了	5				
1割未満	2				
未着手	0				
計		20	15		
合計			100	90	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度が高い	80点以上		
	優先度が低い	60点以上 ~ 80点未満		
	優先度が低い	60点未満		